

外国語科学習指導案

授業者 廿日市市立大野東中学校
教諭 山崎 学 肖

- 1 日 時 平成 28 年 1 月 14 日 (木)
- 2 学 年 第 1 学年 3 組 (男子 15 名, 女子 18 名, 計 33 名)
- 3 場 所 廿日市市立大野東中学校 1 学 3 組教室
- 4 単元名 Unit10 観光地から (*New Horizon English Course 1*)
- 5 単元について

○単元観

本単元は、登場人物であるさくらや一郎がサンフランシスコに旅行に来ており、ナンシーがサンフランシスコの有名な場所について観光案内している内容である。観光案内の時には、「～することができる」などとその場所の特徴を伝えたりする内容でまとめられている。今までの学習では人について説明することが多かったが、場所について説明することに焦点があてられている。世界遺産を 2 つも所有する広島県に住んでいると、外国人に観光地で出会う可能性は高い。そのような場面で、英語で観光地について紹介したり、観光地の話題で外国人とコミュニケーションを行ったりする力が必要になる。本単元では観光地について相手に紹介したり、相手の質問に答えたりする力を身に付けるのに適した単元であると言える。

また言語材料としては助動詞の **can** と疑問詞の **when** を扱う。助動詞の **can** は「～することができる」という能力や可能を表す表現であり、この表現を学習することで今まで一般的な習慣や事実しか表現できなかったものが、人や動物の内在的能力や人・物・事の可能性などを表現することが可能となる。助動詞 **can** は小学校の外国語活動でも学習している内容であるが、助動詞としての働きについては未習であり、基本的な助動詞の用法について学習することができる単元でもある。

本単元は観光案内をする内容であることから、学習指導要領の「話すこと」の「イ 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」や「書くこと」の「イ 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」を指導するのに適した単元であると言える。具体的に言えば、観光案内をテーマに相手に口頭で伝えたり、英文で観光案内文を書いたりする活動を仕組むことができる単元である。

○生徒観 (本校の生徒を想定して)

本学年の生徒は、小学校の外国語活動の取り組みの影響もあって、英語学習に対してとても積極的である。平成 27 年 9 月下旬に実施したアンケートによると、英語学習・活動に対して肯定的な回答をした生徒は約 70%であった。加えて、実際の授業場面ではペア・グループ活動において、友人とのコミュニケーションを積極的に図ろうとし、自分の意見を率直に発言する生徒も多いことから判断することができる。

しかしながら、すでに英語学習に苦手意識をもつ生徒が約 30%在籍する。前述したアンケートによると、英文を「聞く・話す・読む・書く」活動のうち、好きな活動については「話すこと」が一番肯定的な回答が多く約 77%であった。また、苦手な活動については「書くこと」が最も高く、約 75%であった。理由としては「単語を覚えることができない」「英語のルールが理解できない」といった回答が多い。さらに、平成 27 年 9 月初旬に実施した夏休み明けテストによると、英文を 1 文正しく書く問題の正答率が 1 番低く、35%であった。具体的な間違いの例としては、英語の語順の違いや必要な単語の欠如などがあげられる。このことから、「書くこと」に対する抵抗感や苦手意識が強く、学習した単語を正しく書く力が不十分だったり、文構造や語法の理解が不十分だったりして、正しく文を書くことが難しい傾向がある。

○指導観

したがって指導に関しては、生徒の苦手意識の低い「話すこと」から「書くこと」につなげるように留意する。帯活動として設定しているワードビンゴで既習の単語を書く力を身に付けさせるようにすること

から始めて、短い英文を書く活動を多く設定することで、少しでも「書くこと」に対する抵抗感を軽減できるようにしたい。さらに、基本的な表現を定着させるためにパターンプラクティスや音読練習を数多く設定する。単純な単語の入れ替え練習や語順を並び替える練習、表現内容を生徒に考えさせる内容の練習のように、少しずつ変化を加えながら指導する。

最終的な単元目標としては、広島県や廿日市市の観光案内パンフレットを英語で書くことができることとしている。観光地の特徴を捉えて、その場所に行きたいと思えるようなアピール文を含む紹介文を書く活動を設定する。これは、本校が作成している CAN-DO リストの「書くこと」の目標である「自分や他者の様子や特徴について簡単な英文を書くことができる」を意識した言語活動である。教師の観光案内モデルや教科書本文の英文を参考にしながら、生徒が自分で紹介文を書くことができるよう段階的に指導していく。最初は1文で書く指導を中心に進めていくが、文章の内容を考えさせながら次第に代名詞や接続詞を用いた英文を書くことができることをめざす。

6 単元目標

○広島県や廿日市市の観光地の特徴を含んだ紹介パンフレットを英語で書くことができる。

【外国語表現の能力】

○分からない表現があっても、既習した表現を用いながら英文を書いている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○英語での観光案内を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。【外国語理解の能力】

○助動詞 **can** や疑問詞 **when** の用法を理解している。

【言語・文化についての知識・理解】

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
分からない表現があっても、既習した表現を用いながら英文を書いている。	広島県や廿日市市の観光地の特徴を含んだ紹介パンフレットを英語で書くことができる。	英語での観光案内を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。	①助動詞 can の用法を理解している。 ②疑問詞 when の用法を理解している。

8 単元計画（全8時間）

時	学習内容	評価規準	評価方法
1	○本単元で行う活動や身に付けたい技能を知る。 ○助動詞 can の使い方（肯定文・疑問文・否定文）を理解する。 ○助動詞 can を用いたコミュニケーション活動をする（インタビュー活動）。	エ①	ワークシート 活動の観察 後日テスト
2	○サンフランシスコの観光案内文を読んで理解する。 ○観光案内をする時に必要な表現を練習する（英作文）。	ウ	ワークシート
3	○ALT による自国の観光地の案内文を聞いて理解する。 ○サンフランシスコの観光案内文（ゴールデンゲートブリッジ）を読んで理解する。 ○観光地について情報を得る練習をする（インフォメーションギャップ活動）。	ウ	ワークシート
4	○疑問詞 when の使い方を理解する。 ○疑問詞 when を用いたパターンプラクティスをする。	エ②	ワークシート 後日テスト

5	○サンフランシスコの観光案内文（ヨセミテ公園）を読んで理解する。 ○観光地について情報を得る練習をする（インフォメーションギャップ活動）。	ウ	ワークシート
本時	○教師による広島県の観光案内を聞いて内容を理解する。 ○観光案内をする時に必要な表現を練習する。 ○広島県の観光地の特徴を含んだ紹介文を英文で書く。	ア イ	活動の観察 ワークシート
7	○観光案内をする時に必要な表現を練習する。 ○廿日市市の観光地の特徴を含んだ案内文を英文で書く。	ア イ	活動の観察 ワークシート
8	○作成した廿日市市の観光案内文をピア・フィードバックする。 ○生徒が作成した観光案内文を修正・加筆する。	イ ウ	活動の観察 ワークシート
後日	○観光地の特徴を含んだ案内文を書くパフォーマンステストをする。	イ	ワークシート

9 本時の学習展開

(1) 本時の目標

- ・広島県の観光地の特徴を踏まえた紹介文を英語で書くことができる。 【外国語表現の能力】
- ・分からない単語があっても、既習の表現を用いて英文を書いている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 本時の評価規準

- ・広島県の観光地の特徴を含んだ紹介パンフレットを英語で書くことができる。 (イ 外国語表現の能力)
- ・分からない表現があっても、既習した表現を用いながら英文を書いている。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 本時の指導過程

学習内容	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」と判断した生徒に対する手立て)	評価規準 (評価方法)
1. Warm-up (10分) ・あいさつ ・ワードビンゴ	◇英語の授業をはじめる雰囲気づくりをするために、できるだけ英語を使う。 ◇ビンゴでは既習の単語を扱い、口頭練習させた後に、書かせるようにする。 ◇ビンゴを行う時には、音と文字の一致をさせるよう指導する。 ◆音と文字の一致が難しい生徒には、個別に支援する。	
2. Review (10分) ・教師による観光案内文を聞く	◇教師が広島県の観光地を紹介する時には、写真と聞き取りのポイントを提示する。 ◇聞き取りのポイントを確認する時には、スク립トを提示してどこに書いてあるかを確認する。	
めあて：広島県の観光地の特徴を含んだ紹介文を英文で書くことができる。		
3. Practice I (10分) ・観光案内に必要な表現を練習する。	◇日本語を英語に直す並べ替え問題を通して、観光案内をする時に必要な表現を理解できるように指導する。(具体的に can を用いて)	

	◇助動詞の後ろの動詞は原形であることを、繰り返し指導する。 ◆主語と動詞が何であるかを確認したり、板書した内容を示したりしながら支援する。	
4. Practice II (15分) ・広島県の観光案内文を口頭でペアに伝える。 ・広島県の観光案内文を英文で書く。	◇グループで異なる観光地の写真とメモを配り、口頭で観光案内文を相手に伝えるよう指導する。 ◇相手を変えながら、観光案内の回数ができるだけ多くなるよう、練習させる。 ◇生徒だけで分からない表現があれば、全体で確認する。 ◇口頭で表現した観光案内を英文で書かせる。 ◆自分で紹介ができない場合には、板書内容などを見て説明したり、教師がヒントを与えたりして支援する。	ア分からない表現があっても、既習した表現を用いながら英文を書こうとしている。(活動の観察) イ広島県の観光地の特徴を含んだ案内パンフレットを英語で書くことができる。(ワークシート)
5. Consolidation (5分) ・教師が提示した日本語を英文で書く。	◇本時の振り返りを書くよう指示する。 ◇本時のまとめをする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><予想される生徒の振り返りの例></p> <p>ここは有名な公園です。 This is a famous park.</p> <p>ここでたくさんの花を見ることができる。 We can see many flowers here.</p> </div>		

10 板書計画

Thursday, January fourteenth		
めあて 広島県の観光地の特徴を含んだ紹介文を英文で書くことができる。		
<Listening>	<Practice>	<メモ>
1 庄原の備北丘陵公園 2 ・美しい花を見ることができる ・公園で遊ぶことができる ・古い家を見ることができる ・美しい景色を見ることができる	1. This is a famous baseball stadium. 2. We can see baseball games. 3. My brother can play baseball here. 4. My friend can see a concert. 5. We can't play baseball in summer. 6. I can spend a good time.	

CAN-DO リスト

廿日市市立大野東中学校

	聞くこと(Listening)	話すこと(Speaking)	読むこと(Reading)	書くこと(Writing)
1年生	<p>○ゆっくり繰り返し話されれば、簡単な英語の指示や身近なことに関する表現を聞き取ることができる。 【学習指導要領との関連 (ア)】 《教科書との関連：U8, L P1,2,3,5》</p> <p>○ゆっくり短い文章で言われた内容を正確に聞き取り、適切に応じることができる。 【学習指導要領との関連 (ウ) (エ)】 《教科書との関連：WU, L P4,》</p>	<p>○自分のことや身の回りのことについて簡単な英語を使ってやりとりすることができる。 〈Interaction〉 【学習指導要領との関連 (ア) (イ)】 《教科書との関連：U1,3,4,5,7,9, S P1,2,3》</p> <p>○簡単な英語を使って、英語で自己紹介スピーチをすることができる。〈Presentation〉 【学習指導要領との関連 (オ)】 《教科書との関連：U3, M P1,2》</p>	<p>○短くて簡単な内容であれば、身近な話題について書かれた文章の概要をつかむことができる。 【学習指導要領との関連 (ウ)】 《教科書との関連：U2,7, L R》</p> <p>○短くて簡単な内容であれば、初めて見る英文であっても文字や符号を識別して、正しく英文を音読することができる。 【学習指導要領との関連 (ア)】 《教科書との関連：すべて》</p>	<p>○自分や他者の様子や特徴について簡単な英文を書くことができる。 【学習指導要領との関連 (ア) (イ)】 《教科書との関連：U3,6,9,10,11 WP1》</p> <p>○カードや手紙などで適切な表現を使って英文を書くことができる。 【学習指導要領との関連 (イ) (ウ)】 《教科書との関連：U11, WP2,3》</p>
2年生	<p>○ゆっくり繰り返し話されれば、英文の概要や要点などを適切に聞き取ることができる。 【学習指導要領との関連 (オ)】 《教科書との関連：L P1~7》</p> <p>○ゆっくり簡単な英語で話された内容を正確に聞き取り、適切に応じることができる。 【学習指導要領との関連 (ウ) (エ)】 《教科書との関連：U2, L P2》</p>	<p>○自分のことや身の回りのことについて感想・意見や理由を交えながら相手とやりとりをすることができる。〈Interaction〉 【学習指導要領との関連 (イ) (ウ)】 《教科書との関連：WU, U5,7, S P1~4》</p> <p>○場面にふさわしい表現を用いて、文と文のつながりを意識したスピーチをすることができる。〈Presentation〉 【学習指導要領との関連 (オ)】 《教科書との関連：U3, M P1~3》</p>	<p>○物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ることができる。 【学習指導要領との関連 (ウ)】 《教科書との関連：U1,6, L R1,3》</p> <p>○物語や手紙など書き手の意向をとらえて音読したり、適切に応じたりすることができる。 【学習指導要領との関連 (イ) (エ)】 《教科書との関連：L R2》</p>	<p>○文と文のつながりを意識して、自分の感想や意見を理由と具体例を示しながら、英文を書くことができる。 【学習指導要領との関連 (ウ) (オ)】 《教科書との関連：U3,4,5,7》</p>
3年生	<p>○自然な口調で話されたり読まれたりする英語を複数回聞けば、英文の概要や要点などを正確に聞き取ることができる。 【学習指導要領との関連 (イ) (オ)】 《教科書との関連：L P1~6》</p>	<p>○自他や文化・行事について、自分の意見、感想や具体例を示しながら、簡単な英語で相手とやりとりをすることができる。〈Interaction〉 【学習指導要領との関連 (ウ) (エ)】 《教科書との関連：U5, S P1~4, M P1,2》</p> <p>○自他や文化・行事について、具体例や自分の感想・意見を含んだまとまりのある英文でスピーチをすることができる。〈Presentation〉 【学習指導要領との関連 (オ)】 《教科書との関連：WU, U5,6, M P2,3》</p>	<p>○物語、説明文や伝記などまとまりのある英文において、人物の心情や状況の変化を根拠を示しながら読み取ることができる。 【学習指導要領との関連 (オ)】 《教科書との関連：U1,3,4, L R1~3》</p> <p>○物語や手紙文など書き手の意向について根拠をもって音読したり、適切に応じたりすることができる。 【学習指導要領との関連 (イ) (エ)】 《教科書との関連：L R1,2》</p>	<p>○自他や文化・行事について、特徴や具体例、自分の感想を交えながら論理的な説明・紹介文を書くことができる。 【学習指導要領との関連 (エ) (オ)】 《教科書との関連：U2,5,6, WP1~3, M P1》</p>

※【学習指導要領との関連】学習指導要領の「2 内容 (1) 言語活動」の項目との関連を示す

《教科書との関連》教科書の単元名との関連を示す (WU : Warm-Up, U : Unit, S P : Speaking Plus, L P : Listening Plus, M P : Multi Plus, L R : Let's Read)

参考文献

島根県教育委員会 (2013) 『平成 25 年度英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組 島根県の中学校拠点における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標作成資料』

文部科学省 (2008) 『中学校学習指導要領解説 外国語編』